

●寒い冬、公園の主演は元気な水鳥たち

新年を迎え、いよいよ寒さも厳しくなってきました。外へ出るのが億劫な季節ですが、水辺の鳥たちは元気でかわいい姿を見せてくれます。愛らしい姿を探してみてください。

●大きくて迫力のあるサギ



アオサギ



ダイサギ

■公園で一番見かけるのはアオサギで、黄色のくちばしに灰色がかかった模様が特徴。大きいもので全長 98cm、翼開長 170cm にもなる日本最大級のサギです。一方で全身が白く、一般的にシラサギと一括りに呼ばれているものにも種類があり、大きさで大中小が頭に付きます。公園でよく見かけるのはダイサギだと思われませんが、亜種もいるそうです。意外と警戒心が薄く、カモなどに比べて近づくことができるため、写真も撮りやすいです。こちらが気が付かないで歩いていて、水路などから飛び立つと、大きさと羽音にビックリすることがあります(笑)

●仲間がたくさん、お馴染みのカモたち

■カモと言えばポピュラーなのはカルガモでしょうか。留鳥のため一年を通してよく見かけます。その他にも越冬のためこの季節にやってくるカモの仲間がいます。いずれもオスの模様に特徴がありますが、緑の顔が特徴のマガモはわかりやすいですね。ちなみに食用の鴨肉はこのマガモです。一回り小さいコガモも、やはり顔に特徴があります。一緒に行動していることも多いので、ぜひ探してみてください。



マガモ



コガモ

●泳ぎも潜りも得意なおオバン

■秋頃になるとやってくるおオバン。群れでよく見かけます。頭をクイクイッと前後させて泳ぎ、色味は地味ですが、実物を見ると、なかなか愛嬌のある姿をしています。



おオバン

●カワウは駆除してカラスは保護！？



カワウ

公園でも見かける魚捕り上手なカワウ。近年では個体数の増加による環境破壊や漁業被害等の問題から、鳥獣保護法の狩猟鳥となり、可能な期間、地域においては許可なく捕獲可となりました。一方で迷惑なカラスは、この法律により守られたままです。※駆除には申請、許可が必要。



●こんなところに

■ひっそりとユズが実を付けています。ご存知でしたか？

ユズ

カイツブリ

●鳥にちなんだ公園の地名

■古河公方公園内のエリアにはかつての字名、故事、歴史などにちなんだ地名がついています。鳥に由来するものでは、カイツブリの別名から取られた「もぐっちょの入江」や、復元した御所沼に水鶏の再来を願って付けられた「水鶏(クイナ)坂」がありますよ。石碑が立っていますので探してみてください。

●たくさん花をつけるヒイラギナンテン

■最後に一つ、常緑樹のヒイラギナンテンのご紹介。ヒイラギのようなとげのある葉に、ナンテンのように実が付きませんが色は赤ではなく青い実です。公園では12月のどろんこクラブ「クリスマスリース作り」で、葉を使いました。写真のように小さく黄色い花をたくさんつけます。花のないこの時期に、目を楽しませてくれる貴重な存在です。(地図☆印の場所)



ヒイラギナンテン



●1年で最も寒いこの時期、春が待ち遠しいですね。てくてく情報、次号もお楽しみに！